

# 最新クルーズフェリーで行く別府クルーズ報告書



2泊3日 船中2泊

2023/9/18-20

大阪発別府往復

大阪大学国際公共政策研究科赤井研究室



内航船省エネルギー格付け最高評価(★★★★★)を取得



さんふらわあ くない「シップ・オブ・ザ・イヤー2022」大型客船部門賞 受賞

第24回「物流環境大賞」受賞



大阪：さんふらわあターミナル（大阪）第1ターミナル

## スケジュール

### 9月18日(月)

14:00 大阪港集合

14:00-15:00 船内見学

15:10-16:00 さんふらわあ船社と意見交換

ATCのサイゼリヤで休憩

～乗船手続き、本船へ移動～

17:30 乗船

フリー：休憩＋散歩＋入浴・シャワーなど

18:30- ビュッフェ夕食＋交流会

### 9月19日(火)

6:30～ 朝のお風呂＋着岸

6:55 着岸後下船（荷物は部屋に保管）、バスで別府駅へ。

8:00 トヨタレンタカーを借りる。

8:30 別府港湾空港整備事務所で港湾説明

10:00 三井E&S ガントリークレーン工場視察

12:45 冷麺ランチ

14:30-15:30 湯布院散策

16:30 別府駅でレンタカー返却

### 9月20日(火)

6:35 大阪港着岸下船後解散

# 行程表

2023年9月19日		
時刻	行程	場所
19:05	大阪 発	
↓		
6:55	別府 着	
↓		
8:30	概要説明	別府港湾・空港整備事務所
↓		
9:00	移動	官用車(溝江所長、熊川、北岡) レンタカー(赤井先生、留学生)
↓		
10:00	三井E&Sマシナリー視察	株式会社三井E&Sマシナリー大分工場
12:00		
↓	別府市内(赤井先生御一行)	
18:45		
↓		
6:35	大阪 着	

○視察者: 赤井伸郎(大阪大学)、学生8名(うち留学生2名)

○随行者: 溝江所長、熊川前任建設管理官、北岡係員

随行者連絡先(別府港湾・空港整備事務所)

- ・溝江所長 1
- ・熊川前任建設管理官









三井 E&S クレーン工場



別府名物の冷麺

# 参加者アンケート

## 内容

乗船前、さんふらわあの取り組みについて（乗船前説明会で）	6
さんふらわあの船内及び食事、大浴場など設備・内容についての感想	7
さんふらわあ「くれない」のビュッフェについて	7
大分港湾政策について（事務所での概要説明を踏まえて）	8
三井 E&S マシナリーでのガントリークレーン見学および概要説明を踏まえての感想	9
クルーズ・フェリー体験・インフラ施設など、今後のゼミ視察企画についての意見や要望	9

## 乗船前、さんふらわあの取り組みについて（乗船前説明会で）

1. 政策は概ね良好であり、二酸化炭素排出量削減への取り組みもより環境に優しい環境づくりに貢献しています。また、顧客ニーズに合わせた方針変更も非常に先進的です。
2. 現在の客層を踏まえて、若年層の旅客を取り込むための様々な工夫（アトリウムや撮影スポット、パウダールームなど）が施されている点が印象に残っています。荷物を預けた状態で観光ができるなど、「カジュアルクルーズ」としての魅力も感じられました。一方で、リピーターを増やすには、船内の工夫だけでは難しいと考えられます。寄港地とも連携した上で、「第二の故郷」となるような、場づくりが必要と感じました。
3. フェリーとクルーズの区別もいまいちついていないような状態で参加したので、貨物等の割合が大きいことに驚きました。また、若者のフェリー利用率が低いことが課題だったようで、確かに自分も初めての利用でしたし、フェリーを使って旅行するという選択肢を考えたことがなかったので、伸びしろ的には大きいと思いつつもやはり夜行バスと比較すると金額も大きいので付加価値をどう付けていくかを今後考える必要があるように思いました。
4. さんふらわあは、クルーズ客船のマーケットで戦うのではなく、カジュアルクルーズという新しい路線を作って、その代表になりたいとのことで、今回の乗船でカジュアルだけど、非日常のクルーズを楽しむことができました。環境に配慮して LNG 燃料で運航する点もとても興味深かったです。今回は重油による運航で残念でしたが、異なる燃料でも動くように造られていることが学びとなりました。
5. 日本初の LNG 燃料搭載のフェリーということで大変関心が湧きました。上質な船旅（富裕層向け）で収益増加を目指しているということで、フェリーが安いクルーズ化しているという内容でした。フェリー旅行の利点として、マイカーを積みながら旅行することができるということで私自身将来そういった使い方してみたいと思いました。さんふらわあの職員の皆様、ご丁寧な対応をしていただき、誠にありがとうございました。
6. さんふらわあにおいて、旅客の立場や位置づけについて深く理解することができました。特に、需要の高い貨物輸送と比べて旅客数の増加がどれだけ重要であるかを認識しました。また、外国人観光客などの旅客数が今後増加する見込みであるとい



うことで、今後、弾丸ツアーのような新たな取り組みが実施されることを楽しみにしています。

## さんふらわあの船内及び食事、大浴場など設備・内容についての感想

1. ”船の寝室は新しくてモダンに見えます。広々としたダイニングルーム。モダンで清潔なトイレ”
2. ”新造船ということもあり、設備・デザインともに洗練されていると感じました。とりわけ、パウダールームやスイートルーム専用のラウンジなど、船内とは思えない充実した環境でした。今回はたまたま LNG ではなく残念ではありましたが、大きな揺れもなく快適に過ごすことができましたと思います。一点、部屋以外の場所(各階のロビー・窓際など)にも、コンセントを挿せる場所があれば、より良かったと思います。”
3. 最新フェリーということもあり全体的にきれいな環境だったことがよかったと思います。ロビーも天井は低かったものの吹き抜けてあったため解放感を感じました。プロジェクションマッピング等のエンタメ要素もあり、とても楽しく過ごすことができました。海を見ながら湯船につかる機会は初めてだったので、窓が付いた大浴場は個人的によかったと感じました。
4. 中央階段の空間が素敵でした。オシャレな中央階段や丸い窓があったり、船長の衣装を着ることができたりなど、撮影スポットがあって楽しむことができました。また、新しい船なのでトイレや大浴場、絨毯まで全て綺麗で清潔感があり、気持ちよく過ごすことができました。窓のない部屋でスマホは使えなかったですが、ほとんど困ることはなかったです。
5. 実際、今年に出航開始ということもあり船内は大変綺麗で、大浴場もホテル並みでしたので大変快適な船旅を送ることができました。お部屋にも各別ベッドに TV が付いているため、携帯が通信で使えない場合にも TV を使って時間を過ごすことができ大変良かったと思います。次、さんふらわあを個人的に利用する際にはよりグレードの高い部屋を予約しようと思います。アメニティも備わっており便利でした。
6. 船内の内装やデザインにはとても感動しました。プロジェクションマッピングなどのイベントも非常に楽しい経験でした。大浴場については、海を大きな窓で一望することができ、また清潔感も感じられ満足でした。客室についても、さまざまな部屋を見学でき、今回宿泊したお部屋以外にも泊まってみたいと思いました。

## さんふらわあ「くれない」のビュッフェについて

1. ”その食べ物は美味しい。さまざまな料理があります。食べ物の味も私に合っていて、料理はとても健康的です”
2. ”いずれのメニューも大変美味しくいただきました。大分の郷土料理なども提供されており、横に説明書などがあったのも分かりやすく良かったと思います。種類が多く、飽きることは全くありませんでしたが、行きと帰りで概ねメニューが同じであったため、曜日ごとにバリエーションがあるとより楽しめたかと思います。”
3. 郷土料理を含め様々な料理が提供されていたので楽しかったです。ゼミのメンバー

で集まって食事をする機会も多くなかったので、そういった意味でも皆で集まって食べられたのが特によかったと思います。普段デザートに甘いものをあまり食べないので、フルーツは食後に最適だったと思います。もっと種類を増やしていただけたら僕がうれしいです。カボスのアイスも最高でした。

4. 大変美味しく満足しています。大分県の郷土料理である「りゅうきゅう」のお茶漬けや、黒豚を使ったウインナーやしゅうまい、そして船特製のさんふらわあカレーなど特徴のあるお料理が印象に残っています。また、サラダやフルーツ、デザートやアイスも充実しており、特に、アイスはカボス・ほうじ茶・バニラ味があり、どれも本格的で美味しかったです。
5. 食事は大変美味しく、何度もおかわりにいくほどでした。特に刺身、琉球漬けが好きでたらふく食べました。混雑を防ぐためにお料理を二つずつ用意されており画期的だなと思いました。ドリンクバーも大変綺麗で、またメニューが多く大変満足いくビュッフェでした。
6. ビュッフェでは、多彩な種類の料理が用意され、非常に満足しました。特に、海鮮料理の種類が豊富で、地元の名物どんぶりも美味しかったです。客席についても、ゆったりと過ごせる十分なスペースが確保されていました。また、一部の席からは海を眺めながら食事を楽しむことができることも素晴らしいと思いました。

## 大分港湾政策について（事務所での概要説明を踏まえて）

1. ご説明いただいた内容を通し、港湾行政の実態（国・県・市の役割分担）についてよく理解することができました。クルーズ船の寄港に向けた取組みや「みなとオアシス」でのイベントの開催など、港を盛り上げるための工夫が大変勉強になりました。一方で、「ホーバークラフト」については集客やバスとの兼ね合い等、課題が大きいため、運賃やターミナルまでのアクセスなど検討を重ねる必要があると感じました。
2. 九州の様々な港を拠点として産業が支えられていることがよくわかりました。特に興味を持ったのはホーバークラフトです。面白いシステムだなと思いましたが、金額やトータルでの移動時間などを考えると難しい側面もあり、今後どのような改良がされていくのか楽しみです。港における水深の話もありましたが、そういったところまできちんと測って政策がとられていることがわかり勉強になりました。
3. ホーバークラフトという海上を高速で走り、かつ陸地も走れる移動手段が再開するという県の政策に興味を持ちました。大分県中心部から大分空港まで高速バスだと1500円のところ、ホーバークラフトの乗船価格をいくらにすれば、どちらも生き残れるのか、ホーバークラフトをリピートして乗ってもらえるのか、大変難しい問題だと思いました。
4. 様々な産業基盤を支える企業が立地されており、工業港湾として発展されている様子で大変素晴らしいと感じました。特に最後お話にありましたホーバークラフトの計画はとても興味深いものでした。今後ホーバークラフトの施策をどのようにするか今後とも動向を追っていきたいです。国土交通省の皆様、ご丁寧に対応していただき誠にありがとうございました。
5. 大分港に関して、航路の重要性やターミナルの整備の工夫について理解が深まり



ました。ホーバークラフトについては、多くの意見がありましたが、積極的に様々な取り組みが行われていることを知り、今後の展望を楽しみにしております。

## 三井 E&S マシナリーでのガントリークレーン見学および概要説明を

### 踏まえての感想

1. ここの会社の事業規模の巨大さを見て非常に感銘を受けました。同社にはベトナムやマレーシアなどの国々からの顧客がいます。クレーンの実物を初めて見ました。
2. ”初めて建設途中(納品前)のガントリークレーンを見学することができ、非常に貴重な経験となりました。世界初の水素を用いた RTG の製品化ということもあり、コスト面や法的規制など課題は多いと感じましたが、各国・地域の実状にあわせて様々なタイプの RTG を提供できるのは非常に大きな強みと感じます。規制については国として今後どのような対応をとっていくのか情報を追っていきたいと思います。”
3. 工場の見学をしたことがあまりなく、特にガントリークレーンのようなものは初めて知りましたので新鮮な時間でした。時代の要請に合わせた機能の改善を図っているのが印象的でした。また、中国や欧州の競合企業に対して付加価値を付けて競争していかなければならないところに大変さを感じましたが、日本独自の技術力で頑張してほしいという気持ちもありました。
4. ガントリークレーンが非常に大きかったことが印象に残っています。世界に向けて輸出しているということで、日本の技術力や安全性が高いことを誇らしく思いました。クレーンの電池も環境に配慮してハイブリッドや水素燃料電池、水素エンジンを開発されていて、今後さらに需要が高まるのではないかと思います。
5. カーボン・ニュートラルに挑戦されていらっしゃる、顧客のニーズに最大限答えていらっしゃるお姿は大変感銘を受けました。ガントリークレーンを生で拝見いたしました。大きく実際に動いている姿を今度見てみたいと思うほど素晴らしいものでした。三井 E&S マシナリーの職員の皆様、この度は大変ご丁寧に対応していただき誠にありがとうございました。
6. ハイブリッドからゼロエミッションへの移行と、それを世界に向けて輸出する計画には、非常に感銘を受けました。また、クレーンなどに関しては、多くの人々の技術と努力が集約されていることを理解し、実際に見学した際には、その迫りや塗装の鮮やかさに驚かされました。

## クルーズ・フェリー体験・インフラ施設など、今後のゼミ視察企画について

### での意見や要望

1. ”私はこの旅行に良い印象を持っています。具体的には、ヨットから海や海から昇る日の出、沿岸都市を眺めることができます。日本は海に関わる貿易経済活動が盛んな国です。次回のセミナーはクルーズで開催するのが良いと思います”

2. ”2泊3日とは思えない大変充実した旅でした。その理由としては、船上で過ごす時間も単なる移動ではなく、非日常的な体験であったからだと思います。いきなりクルーズ船ではハードルが高い人にとっても、船に関心を持つ良いきっかけになると感じました。私自身、港湾行政への関心も高まり、地方創生/都市開発についても様々考えを巡らせることのできる時間になったと感じております。いずれはゼミのみんなと実際のクルーズ船にも乗ってみたいです。また、国内の場合には地方創生の取り組みなどについても、市職員の方から話を聞いてみたいと思いました。今回は企画や準備など進めていただき、ありがとうございました。”
3. 初めてのフェリーでしたので船内も別府での行程も楽しめました。昼間に乗ればまた違った景色が見れるのかなとも思い、次の機会があればまた参加したいと思います。以前船で韓国に行ったということもお聞きしましたので、近場の海外へ行くのにも興味があります。
4. 初めて船内で泊まりましたが、あまり揺れなかったため船酔いすることもなく、快適に過ごすことができました。しかし、常に震度3くらいの船の揺れを感じながら寝なければならなかったのが、初日は寝にくかったのと、船酔いする友人がかわいそうに感じました。2日目の車移動の際に、運転してくださった赤井先生と野津さんに感謝しております。
5. この度は、赤井先生、澤村さんを始めこのような素晴らしいゼミ旅行の計画、実行をしてくださりまして誠にありがとうございました。私自身、フェリーに乗ったことは今回初めての体験として貴重な機会となりました。今度プライベートでも乗ってみようかと思えます。今後のゼミ旅行企画でもフェリー旅行は大歓迎です。ありがとうございました。
6. フェリーでの往復で2泊3日の旅を楽しむことができました。短い滞在ではありましたが、ただの旅行ではなく意見交換会や視察ができたことに大変満足しました。ただ、現地を十分に回る時間がなかったことから、もう少し長い滞在ができる計画も魅力的だと感じました。